

平成30年10月3日

食農学類長候補者の選出について

日頃から本学に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび農学群食農学類の設置認可が下り、平成31年4月より開設することとなりました。これに伴い、当該学類より推薦された食農学類長候補適任者を参考に、学長が食農学類長候補者を下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

記

食農学類長候補者 生源寺眞一 福島大学教授（農学系教育研究組織設置準備室長）

任期：平成31年4月1日～平成33年3月31日

略歴

氏 名： 生源寺 眞一（しょうげんじ しんいち）

生年月日： 昭和26年10月26日生 66歳

出身地： 愛知県名古屋市

専門分野： 農業経済学、フードシステム論、農業政策論 農学博士

略 歴：

昭和51年	4月	農林技官研究職（農事試験場農業経営部）
昭和56年	8月	北海道農業試験場農業経営部
昭和62年	7月	文部教官教育職（東京大学農学部助教授）
平成8年	6月	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
平成16年	4月	東京大学農学部副学部長（平成17年3月まで）
平成17年	4月	東京大学大学院農学生命科学研究科副研究科長（平成19年3月まで）
平成19年	4月	東京大学大学院農学生命科学研究科研究科長（平成23年3月まで）
平成23年	4月	名古屋大学大学院生命農学研究科教授
平成29年	4月	福島大学農学系教育研究組織設置準備室教授 農学系教育研究組織設置準備室長併任（平成31年3月まで） 現在に至る

（お問い合わせ先）

総務課広報担当

TEL：024-548-5190

生源寺眞一 おもな職歴など

1976年 3月 東京大学農学部農業経済学科卒業
1976年 4月 農林省農事試験場研究員
1981年 8月 農林水産省北海道農業試験場研究員
1987年 7月 東京大学農学部助教授
1990年 4月 ケンブリッジ大学客員研究員(91年4月まで)
1996年 6月 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
2007年 4月 東京大学大学院農学生命科学研究科長・
農学部長(11年3月まで)
2008年10月 日本学術会議会員(14年9月まで)
2011年 4月 名古屋大学大学院生命農学研究科教授
2017年 4月 福島大学農学系教育研究組織設置準備室教授

おもな研究テーマと受賞歴

日本農業の経済分析

- 1) 農業のコストと生産性に関する国際比較分析
- 2) 農地をめぐる農家の経済行動に関する計量分析
- 3) 農業水利と土地改良に関する制度論的研究

現代農業の政策研究

- 1) EUの共通農業政策改革の経済分析
- 2) 日本の農業政策の特質と評価に関する研究
- 3) フードシステムの政策構成に関する研究

日本農業経済学会学会誌賞、日本農業経済学会学術賞、NIRA政策研究・東畑記念賞、日本農学賞・読売農学賞等を受賞。

1

おもな学会活動や社会貢献など

1) 学会

日本フードシステム学会会長、農村計画学会会長、日本農業経営学会会長、日本農業経済学会会長など。

2) 政府や地方自治体

米価審議会委員、国土審議会委員、食料・農業・農村政策審議会会長、愛知県・食と緑の基本計画推進会議座長、全国町村会・地域農政未来塾塾長など。

3) NPO法人など

生協総合研究所理事長、認定NPO法人樹恩NETWORK会長、NPO法人中山間地域フォーラム会長、中日農業賞審査委員長、食と農林漁業大学生アワード審査委員長など。

2

幅広い読者や若者への発信

- 農業政策は消費者であり納税者でもある国民に深く関係。この分野の研究から得られた知見については、幅広い読者を対象とする解説書・教養書としても社会に発信。

『農業再建：真価問われる日本の農政』岩波書店、2008年。

『日本農業の真実』ちくま新書、2011年。

- 高校生や大学生を対象に、食料・農業・農村を広く論じる入門書にも注力。『農業と人間』は後期の学部学生や大学院生を念頭に執筆。

『農業と人間』岩波現代全書、2013年。

『農学が世界を救う！』岩波ジュニア新書、2017年(共編著)

『農業がわかると、社会のしくみが見えてくる』家の光協会、2018年。

3

平成30年10月3日

食農学類棟完成予想図を公開

2019年12月に竣工予定の食農学類棟につきまして、完成予想図をお知らせいたします。



図1.外観イメージ



図2.内観イメージ



図3.実験室イメージ

(お問い合わせ先) ※各データをご希望の場合は、メールにてお問い合わせください。

施設課

電話：024-548-8021 / メール：sisetu@adb.fukushima-u.ac.jp